

## IOR-C形 誘導形過電流継電器 常時閉路接点式電流引はずし形

Type IOR-C Induction Type Overcurrent Relay  
Normal Close Contact Type

本器は、一般に変流器の二次回路に接続され、交流機器の過負荷保護および交流回路の短絡保護を目的として、直流操作電源のない場合に使用され変流器二次電流を利用して、直接しゃ断器を引はずすことができます。

その常時閉路接点子は変流器二次電流 100A のしゃ断に耐えることができます。

### 構造と動作

主要部は変圧器式鉄心に主コイルと極コイルとを相対して巻き、これによってできる移動磁界により、渦電流が流れると円板が回転するという原理に基づいたものです。すなわち主コイルに流れる電流が増加すると、円板は制御スプリングに打ち勝って始動し、永久磁石による制動作用によって一定時限の後その主接点を閉路します。

その接点機構は独立した操作電源を必要としない常時閉路式とするため、特に考慮が払われています。すなわち補助接点子は常時しゃ断器の電流引はずしコイルを短絡していますが、主接点が閉じると動作表示器とともに補助接点子は動作し、その保持接点は主接点と表示器を保護するとともに自己保持し、しゃ断器引はずし回路の短絡接点を開いて、変流器二次電流をしゃ断器の引はずしコイルへ流し、直接しゃ断器を引はずします。補助接点子はしゃ断器が開放すれば変流器二次電流は自然に消滅しますから、自動的に自己保持を解いて動作前の状態に復帰します。



第1図 IOR-C形 誘導形過電流継電器 (埋込形)

### 動作電流値の整定

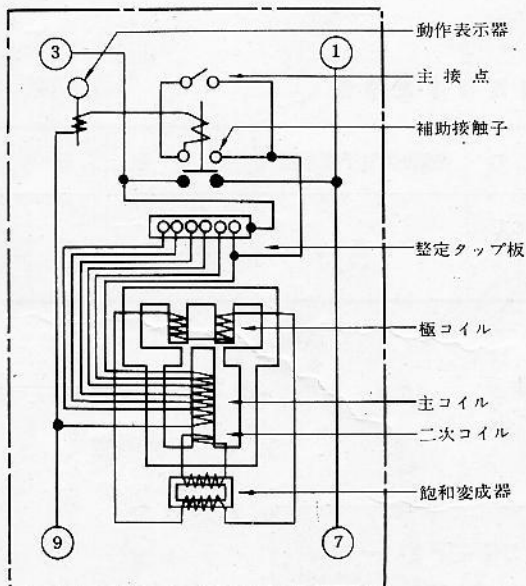
電流整定タップ板には始動電流値が銘記されていますから、系統の大小や個々の場合に応じて所要の電流値へプラグを差し込めば良い訳です。

広範囲の電流整定ができるようにタップ板には4—5—6—8—10—12A の6タップが設けてあります。

### 時限の整定

銘板には時限特性曲線が記載してありますが、これは整定電流値のパーセンテージに対する動作時限の変化を表わしています。

動作時限は円板の回転角度を変えて調整するようになっており、時限目盛板と時限レバーが設けてあります。目盛板上には0~10の時限等分目盛が施してありますが、レバー10位置において1,000%以上の過電流による動作時限は2秒となっており、反限時性定限時特性を与えています。動作時限はレバーを動かすことによって任意に整定することができますが、いずれの位置においても、またどの電流タップにおいても正確な時限が得られます。

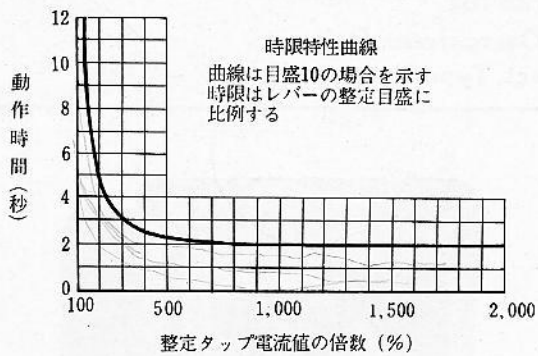


第2図 内部接続図 (裏面)



## 日新電機株式会社

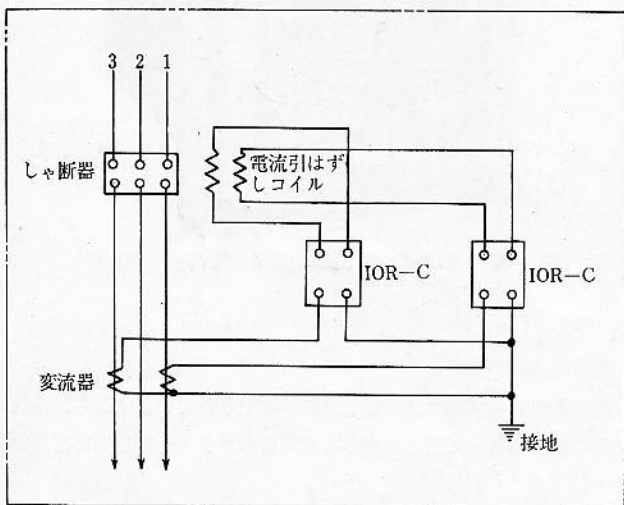
本社 京都市右京区梅津高畝町 京都 (075) 86-3151 大代



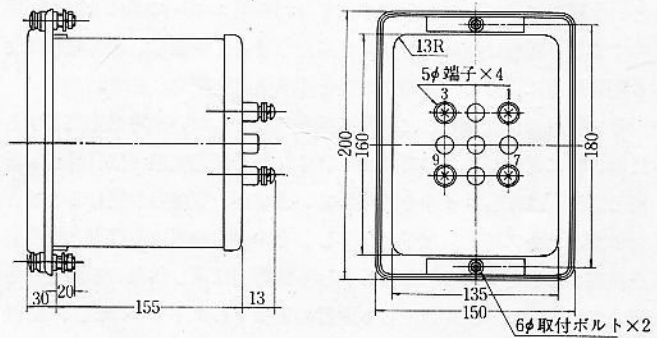
第3図 時限特性

接点と表示器

主接点は純良な銀で作られ、固定、可動両接触子は過大な電流による衝撃にも確実に接点を閉路し、振動したり火花等を発生して接触不良を起こすようなことはありません。また継電器が動作した場合表示器の小窓に黄色の表示片が表われるようになっています。動作した表示器はカバー外部から復帰用のレバーを押し上げて元にもどすことができます。



第4図 外部接続図(裏面)



第5図 IOR-C形 継電器外形寸法図(埋込形)

IOR-C形 誘導形過電流継電器標準定格表

形式	定格	電流整定範囲	消費電力	補助接触子表示器	周波数	備考
IOR-C	5 A cont	4-5-6-8-10-12A	タップ電流にて 13 VA	有	50 % または 60 %	埋込形

- (注) 1. 重量は約 3.9 kg です。  
2. 表面丸形、引出形も標準として製作しています。

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形状: 埋込形、引出形の別
2. 用途: 使用回路
3. 周波数: 50、60% の別
4. 定格: しゃ断器の定格、最低引はずし動作電流
5. その他: 標準外の仕様がある場合